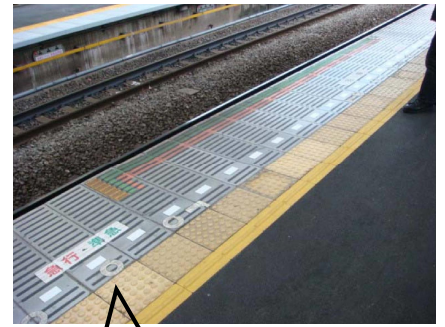


鉄道を安全に利用するために気をつけること

プラットフォームにいるとき

- ✓プラットフォームでは、駆けたり、物などを振り回したりなどせず、また、周りの人の動きに注意しましょう。
- ✓白線又は黄色線の内側(ホーム中央寄り)を歩きましょう。
- ✓ドアが閉まる合図があったときや閉まりかけているときは、無理に乗り降りせず、次の列車を待ちましょう。
- ✓線路に降りてはいけません。



白線及び黄色線

列車内にいるとき

- ✓列車内に危険物を持ち込んではいけません。不審物や不審者を見つけたときには、近くの駅係員などに急いで知らせましょう。
- ✓車両のドアの近くにいるときは、ドアに寄りかかったり、手や足をついたり、物などを置かないようにしましょう。
- ✓走行中の列車内で火災が発生したときなどは、車内に消火器が設置してありますので、ためらわずに使用して初期消火をしましょう。

踏切道を渡るとき

- ✓踏切道には、遮断機も警報機もないものもあります。必ず、踏切道を渡る前は、接近してくる列車がないか安全確認をしましょう。
- ✓自動車で渡るときは、踏切道的前方に安全に通過できる余地を確認してから、通りましょう。
- ✓自動車で踏切道内に閉じ込められたときには、前進して遮断かんを押し上げて、踏切外へ脱出しましょう。

線路周辺にいるとき

- ✓線路は道路ではありません。踏切道以外の場所を、通ったり、線路内に立ち入ってはいけません。
- ✓列車に向かって、石を投げたり、線路内へ石を置いたり、駅や車両などへの落書きをしてはいけません。見かけたときは、駅や警察へ連絡してください。